

令和元年度 第12回全体庁議（1月7日開催）

区分	審議・ 報告	案件名 (担当部)	(1) 日米共同訓練における帯広駐屯地の使用について[総務部]
----	---------------	--------------	---------------------------------

■ 提案・報告の趣旨

本年1月22日から道内において実施予定の日米共同訓練における帯広駐屯地の使用に関し、訓練概要や帯広市の対応等について報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 日米共同訓練の実施について

(1) 訓練の概要

帯広駐屯地は、1月22日から2月8日までの訓練期間中、帯広駐屯地に配属されているものと同型のヘリコプターの整備等を行う駐機場所として使用されとのこと

(2) 帯広市の主な対応

- ① 令和元年12月12日 北海道防衛局から説明を受け、防衛省による公表後、ホームページで周知
- ② " 12月16日 北海道防衛局長に北海道ほか関係自治体との連名で要望書を提出
- ③ " 12月18日 総務委員会に報告
- ④ " 12月23日 北海道防衛局長に帯広市単独で要望書を提出
- ⑤ " 12月26日 庁内連絡調整会議を設置し、北海道防衛局と市民不安解消に向けた協議を開始

■ 今後のスケジュール

(日米共同訓練)

令和2年1月22日～2月8日 訓練（指揮機関訓練、機能別訓練、総合訓練）

・ 訓練場所 北海道大演習場、矢臼別演習場

（帯広駐屯地は、訓練に使用するヘリコプターの機体整備等を行う場所として使用）

※訓練期間前後の概ね1～2週間程度は、訓練の準備や展開、撤収作業が行われる予定

■ 審議結果

帯広市として、市民の安全・安心の確保はもとより、市民生活に支障が生じないよう、北海道防衛局に最大限の配慮を求めるとともに、市民の不安をできる限り解消するため、情報発信に努めることを確認した。

■ その他、指摘事項等